

アル・アクサ洪水第687日目：「完全に人為的なもの」：国連機関がガザで飢饉を宣言

Palestine Chronicle、2025年8月22日



「完全に人為的なもの」：国連機関がガザで飢饉を宣言。(Photo: via QNN)

主要事項

*昨日、イスラエル軍は、一昨日にアル・カッサム旅団がハーン・ユーニスでクフィル旅団の司令部へ行った攻撃の調査結果を発表した。

*イスラエル軍は、「ギデオンの戦車2」と名付けた新たなガザへの作戦を計画しているという報道がある。これに対し、ハマスは停戦交渉を無視し、直ぐに侵略を開始するものと非難している。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からの犠牲者は、死者62,263人、負傷者157,365人となり、その多くは女性と子どもである。

最新情報

8月23日 12:50am (パレスチナ時間)

*パレスチナ・クロニクル：オランダ・メディアによれば、オランダのカスパル・フェルトカンプ外務大臣は、ガザ・ジェノサイドを続けるイスラエルに対してより強力な措置をすることを閣議が反対したので、辞任した。[\(“Dutch Foreign Minister Resigns after Cabinet Blocks Stronger Action on Israel”, Palestine Chronicle News, August 13, 2025\)](#)

8月23日 12:36am

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは米国人とフランス人の2人の医師のガザ入りを止めた。これは、現在続けているジェノサイドの中で人道支援者や人道支援物資に対する規制強化の一環である。

8月23日 12:00am

*パレスチナ・クロニクル：アンサールッターは、超音速ミサイル「パレスチナ2」をベン・グリオン空港へ向けて発射し、ヤファとアシュケロンに向けてドローンを発射したと発表した。これはパレスチナ人との連帯行為であると言った。

8月22日 11:51 pm

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相の直接指導下にある囚人問題担当官は、トランプ米大統領の声明に関して、生存している人質の数に関するイスラエルのデータに変更はないと述べた。彼は「生存人質は20人で、生命の危険に晒されているのは2人だ」と言った。

*アンサールッター：アンサールッター軍事部門報道官のヤヒヤ・サリーは、イスラエルの3施設を標的にした攻撃を行ったことを発表した。超音速ミサイル「パレスチナ2」でロッド空港（ベン・グリオン空港）を、ドローンでヤファとアシュケロンの軍事施設を攻撃したと述べた。

*アル・ジャジーラ：南アフリカ外務省の法律顧問はアル・ジャジーラに対して、国連の飢餓報告書はガザ・ジェノサイドの決定的証拠となると言った。彼は、多くの国が南アフリカの国際司法裁判所へのイスラエル戦争犯罪提訴運動に加わることを望むと表明した。また、彼は、イスラエルが国際刑事裁判所の命令に違反し続けていることを指摘した。

*パレスチナ・クロニクル：二つの法律援護団体が、英国イスラエルを弁護士協会の代表を、パレスチナ連帯活動を脅迫し沈黙させようとした容疑で、弁護士規制局（SPA）に訴えた。

8月22日 11:36 pm

*パレスチナ・クロニクル：帝国が平和について真摯に語れなくなったとき、「停戦」要望さえも嘲笑するとき、衰退するのは世界でなく、米国である。ジュナイド・アハマド・デアルの論文を読みたい。[\(Junaid S Ahamad, "From Gaza to Kashmir: America's Ceasefire Circus", Palestine Chronicle, August 22, 2025\)](#)

8月22日 10:46 pm

*米国メディア：人質家族会は捕虜交換を求める声が高まる中、トランプ大統領は、ハマスが拘束している生存人質の数は20人と言われるが、実際はそれより少ないかもしれないと言った。「その2人はハマスに殺害されて生きていないかもしれない」と示唆した。

*AP通信：オランダのカスパール・フェルトキャンプ外相は、イスラエル制裁をめぐる閣議内に対立のために、辞任を発表した。

*ユニセフ：目撃者によれば、ガザ人道財団の救援物資配給所でイスラエル兵と米傭兵がパレスチナ人に発砲した。ガザのユニセフ事務所の報道官テス・イングラムはアル・ジャジーラに対し、「私たち国際社会はガザの子どもを見捨ててしまった。各国の政府と指導者は自分たちの影響力を使って戦争を終わらせる必要がある。援助物資を届けることが出来なければ事態はますます悪化するばかりだ。ジェノサイドの証拠は明白にある。私は多くの子どもたちに会った」と語った。

*イスラエル・メディア：イスラエル民間防衛隊はイエメンからイスラエルに向かって弾道ミサイルが発射されたのが検知されたと発表した。

*チャンネル12：ネタニヤフ政府はガザ市制圧のスケジュールを早めるようにと軍に圧力をかける一方、捕虜交換交渉のために交渉団を近日中に派遣する準備もしている。

*アル・ジャジーラ：クウェートは国際社会と国連安保理に、ガザ・ジェノサイドを止め、飢餓宣言されたガザへ人道支援物資搬入が許可されるように、至急に行動するように要望した。

8月22日 8:27 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル占領軍と外国雇用兵がガザ人道財団が運営する援助物資配給センターでまたはその付近で飢えたパレスチナ人を銃撃していると、CBSニュースに目撃者が語った¹。

8月22日 8:21 pm

*サウジアラビア外務省：「ガザの人道状況の悪化はイスラエルにその犯罪行為の責任を取らせてそれをやめさせるメカニズムが欠如していることの直接的結果である。このことは国際社会の汚点として歴史に残るであろう。とりわけ、国連安

¹ 目撃者は報復を恐れてマイクという名だけを名乗っている。彼は援助物資トラックの運転手として米国の物流会社に雇われたが、ガザでガザ人道支援財団に協力することになるのは知らなかったという。

保理の常任理事国が飢餓を終わらせ、パレスチナ人虐殺を止めないならば、人類史の汚点として残るであろう。」この声明は、総合的食料安全保障レベル分類の世界イニシアティブが、ガザの状態を飢餓と報告したことを受けて出された。

*FAO（国連食糧農業機関）事務局：FAO 事務局長はニューヨークの記者会見で、ガザが完全な飢餓にあると言った。彼は、飢餓シナリオの最悪ケースが現実のものとなり、ガザに残る僅かな物資の価格が天文学的価格に跳ね上がり、住民はどのようにならない状態に苦しんでいると述べた。

*元米国国家安全保障副補佐官：イスラエルはガザ回廊の破局的な戦争を終えるどころか、西岸地区で新たな戦争を引き起こそうとしている。イスラエルは同時に二つの危険な道へ向かい、ガザへの食糧流入を阻止したのは戦略的にも道義的にも失敗だ。

*ユニセフ：ユニセフの広報官は、イスラエルの軍事攻勢を拡大し続けているので、ガザの飢えたパレスチナ人はもうどうすることもできなくなっていると言った。彼女は、ガザ飢餓の報告を無視し、それへの対応を怠れば、子どもを含む数万人の民間人が飢餓で死ぬかもしれないと付言した。彼女は、食料と生活支援物資が早急にガザへ入るようにする国際社会の行動を求めた。

8月22日 6:43 pm

*アル・カッサム旅団：我々は、18日にガザ市ザイトゥーン地区南で、イスラエル兵がメルカヴァ戦車から降りたところを機関銃で攻撃した、と発表した。

*アル・ジャジーラ：国連食糧権特別報告者のマイケル・ファクリはアル・ジャジーラに対し、「イスラエルがガザのパレスチナ人を飢えさせているのが、飢餓の原因です。ガザに食料を入れるためには、援助食糧に平和維持軍をつける必要があります。飢餓に関する報告書の数字は控え目で、専門家たちもそれを認識しています。中東のアラブ諸国こそが真っ先にイスラエルに制裁を課すべきです。政治的決断が必要です。イスラエルは国際法を無視しているので、断固とした決断と行動が必要です」と語った。

8月22日 6:34 pm

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は国連が総合的食料安全保障レベル分類でガザを飢餓と報告したことに関して、「中傷だ。歴史はこれを公表した者を裁くだろう」と言った。

*イスラエル・メディア：政府に抗議するデモ隊は、即時ハマスと合意して人質返還を実現せよと要求して、テルアビブと郊外を結ぶアヤロン・ハイウェイを占拠した。また、イスラエルを南北に縦断する完全道路6号線も占拠・封鎖している。

*英国メディア：英国のデイビッド・ラミー外務大臣は、「ガザ市とその周辺地区で飢餓が確認されたのは恐るべきことで、完全に防ぐことができたはずである。これはイスラエルがガザへの救援物資を妨害したことから生じた道徳的スキャンダルだ。イスラエル政府はこれ以上ガザ状況を悪化させないために、直ぐに行動を起こさなければならない。我々は、援助物資のガザ搬入を認め、飢餓の震源地である軍事行動を停止するために、停戦を要求する。

8月22日 5:09 pm

*パレスチナ・クロニクル：国連はガザ市とその周辺地域が飢餓に直面していることを始めて確認し、グテーレス事務総長は飢餓を「人災」であり、「人類そのものの失敗」と呼んだ。総合的食料安全保障レベル分類（IPC）の分析結果によると、飢餓（IPCフェーズ5）が8月15日時点でガザで「合理的証拠に基づいて」確認された。

8月22日 5:01 pm

*イスラエル軍ラジオ放送：イエメンから発射されたドローン1機がイスラエル南部に侵入し、それを迎撃する努力が行われている。複数の迎撃ミサイルが発射された。

*イスラエル軍：イスラエル民間防衛隊の報告によれば、ドローン侵入の恐れで南部地域で警戒警報が鳴った。軍は、ガザ回廊周辺地域の警報を受けて、確認と調査を行っていると発表した。

*ガザ保健省：この24時間で71人のパレスチナ人が死亡し、251人が負傷した。そのうち援助物資を待っている間に攻撃されて死亡した人は24人、負傷した人は133人である。これによって2023年10月7日以降の犠牲者数は、死者62、263人、負傷者157、365人となった。

*ヨルダン外務省：ヨルダン外務省は、イスラエルの通信大臣がヨルダン川の両岸を「イスラエルの地」の一部と主張した発言を非難した。ヨルダン外務省は、こうした発言があってもパレスチナ人の正当な権利を支持するヨルダンの確固たる姿勢は崩れないと言った。

*チャンネル13：チャンネル13の独自調査で、ネタニヤフ首相、ベン・グヴィル国家安全保障大臣、スモトリッチ財務大臣が、ハマスとの捕虜交換合意を少なくとも5回阻止したことが明らかになった。この調査報告は、政府は人質解放のためにあるゆる努力をしたという主張はできないと指摘している。

*パレスチナ・メディア：ハーン・ユーニスのアル・マワシ地区の避難民テントをイスラエル無人機が銃撃し、女性1人と子ども4人が死亡したと、ナセル総合病院が報告した。

8月22日 2:41 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル軍がシェイフ・ラドワンを攻撃し、避難所となっている学校で12人を殺害した。これによって今日の死者数は34人となった。一方、大規模強制移住に追いやられた避難民が日々増加している。

8月22日 2:22 pm

*イエディオト・アハロト：イスラエル内務省はバルセロナの市長の入国を拒否した。市長は今夕西岸地区の訪問予定であったが、彼の反イスラエルの発言のために入国拒否となった。

*英国メディア：英国の中東担当大臣は、ガザの破局的人道状況が「新たなレベル」になったと述べた。彼はイスラエルに、飢餓の継続を止めるために、ガザ住民への援助物資の搬入を認めることを求めた。

8月22日 12:37 pm

*アル・ジャジーラ：総合的食料安全保障レベル分類（IPC）は、ガザ市で飢餓が広がっていると報告した。ガザでは50万人以上が飢餓、貧困、死の危機に直面している。国連機関の報告では、ガザで食料がないために苦しんでいる人の数が3倍も増加した。

*UNRWA：ガザのほぼ90%がイスラエル軍占領地になった。子どもたちは何度も移住させられ、イスラエル軍の包囲と攻撃の中で家族のための水汲みの重労働を行っている。

*イエディオト・アハロト：数か月前、軍は戦争終結と人質返還の合意を求める嘆願書に署名したとして空軍将校15人を解雇した。将校たちは最高裁判所に提訴した。

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエル計画局は、西岸地区北部のサヌールに126戸の入植者住宅の建設を承認した。入植地指導者は、西岸地区の入植者人口を100万人にすることが目標だと言った。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍がガザ市北西部のアッシュェイク・ラドワンのアブ・イスカンダール地区を砲撃、死傷者が出た。

*CBSニュース：ガザで働いていた米国人契約労働者が、イスラエル軍が援助物資配給を待つ民間人に意図的に発砲していた証言した。彼は、発砲は警告射撃ではなく、無差別銃撃で、相手は戦闘員でなく、一般民間人であったと述べた。

*ガザ市民防衛団：救急隊の報告では、ガザ市西部のアル・ジャラア通りの避難民テントへのイスラエル軍の銃撃で、子ども3人を含む5人が死亡した。

*テレグラフ紙：国連の支援を受ける総合的食料安全保障レベル分類（IPC）がまもなくガザ市が飢餓にあると発表する。飢餓が来月末までにはデイル・アル・バラフ市とハーン・ユーニス市に拡大し、50万人以上の人々が飢餓、貧困、死の危険に直面すると予想されている。

8月22日 2:19 am

*パレスチナ・クロニクル：リチャード・フォークが主導する「ガザ法廷」は、イスラエルのガザ・ジェノサイドを止めるために、国連総会で決議して直ちに国際的武力介入を求め、ジェノサイドを前にして沈黙するのはジェノサイド犯罪への共謀に等しいと警告した²。

² プリンストン大学の名誉教授で、かつて国連特別報告者を務めたことがあるリチャード・フォークは、模擬法廷「ガザ法廷」の裁判長として、7月18日に、イスタンブールで記者会見を開き、安全保障委員会は米国の拒否権を使った妨害があるので安保理を迂回し、総会でイスラエルに対する武力介入を決議するように各国政府に求めた。

8月22日 1:39am

*チャンネル12: ネタニヤフ首相の側近は、ハマスとの交渉は、仲介者が提案した枠組みでなく、イスラエル安全保障閣議が決めた条件に基づく包括的合意を目指して行うと言った。

*パレスチナ・メディア: 地元関係者の報告によると、イスラエル軍はガザ北部と東部のアットゥファーフ地区東部とジャバリア・アル・バラドを砲撃した。

*UNRWA: 国連難民救済事業機関 (UNRWA)は、「推定ではガザの人口の90%が避難移住した。避難所は満杯で状況悪化しており、これ以上避難民を作り出せば、破局的状況をますます悪化させる」と述べた。

*パレスチナ・クロニクル: アル・クッズ旅団は、7月7日に、アル・カッサム旅団との共同作戦で、ガザ市シェジャイヤ地区のシェイフ・ラドワン・モスク付近で、周到に準備した待ち伏せ攻撃として仕掛けた穴に複数のイスラエル軍車両が陥落した映像を公開した。

8月21日 11:00pm

*アル・カッサム旅団: アル・カッサム旅団は野戦活動を続け、サラフ・アッディン軸に集結していた敵兵と軍車両をラジューム短距離ロケットで攻撃したと、今日発表した。これは二度目の発表で、先にはラファ西で敵の指揮・統制本部と兵士と車両の集合への攻撃を発表していた。

*国連: 国連事務総長の副報道官は、ガザへのすべてのクロッシングに国連監視員の配置を要請したが、イスラエルは拒否した。ガザ・クロッシングはすべてイスラエルの管理下にある。この拒否により、国連がガザに搬入される物資の量を国連が独自に監視することができなくなった。また、イスラエル軍はデイル・アル・バラフ市の国連人道問題調整事務所 (OCHA)の施設近くの避難民施設を爆撃した。

*アクシオス: イスラエル高官は、イスラエル代表団は生存人質及び死んだ人質の遺体の返還と戦争終結に関し、イスラエルの条件でのみ交渉すると言った。

*アル・カッサム旅団: 我々は、ガザ回廊南部のラファの西でイスラエル占領軍の指揮・統制本部と兵と車両の集合をラジューム・ロケットで攻撃した。

*カン: 軍は、ガザ市の制圧には、市内の地上戦に向けた準備を強化するため、約2か月かかると見積もっている。

*チャンネル12: イスラエル政府高官によると、現段階ではイスラエルはカイロ及びドーハに交渉団を派遣しない。2023年10月7日以来、イスラエルは、米国の支援で、殺害、飢餓、破壊、強制移住など、ガザ住民にジェノサイド戦争を行ってきたことへの国際社会からの非難と戦争停止要請や国際司法裁判所の命令を、無視する姿勢である。